

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長崎外国語大学
設置者名	学校法人 長崎学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難
		学部等共通科目	専門科目	合計		
外国語学部	現代英語学科	17	16	33	13	—
	国際コミュニケーション学科		0	17	13	—
(備考) 本学は1学部2学科の大学であるため、「全学共通科目」と「学部等共通科目」は同じとなる。						

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/ カリキュラム全体のシラバスを公開している画面 (https://agora.nagasaki-gaigo.ac.jp/syllabus/search.aspx) において検索キーワードとして「実務家教員による授業」を入力して検索することで一覧表示される。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長崎外国語大学
設置者名	学校法人 長崎学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表

https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業経営者	2020.12.1 ～ 2024.11.30	コンプライアンス の推進等
非常勤	財団法人代表	2021.10.24 ～ 2025.10.23	宗教教育
(備考) 理事8名中、学外者である理事は5名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長崎外国語大学
設置者名	学校法人 長崎学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準手法、フィードバックの方法その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を学期開始前までに作成し公表している。</p> <p>この授業計画(シラバス)の作成にあたりシラバス改善小委員会を中心にガイドラインを作成してチェック体制を確立し、併せて教員SD(FD)で周知する等の取組みを行っている。また、実務家教員による授業科目について一覧を公開している。</p> <p>—シラバス公開までの流れ(シラバス改善小委員会にて管理)—</p> <ol style="list-style-type: none"> ①シラバス作成ガイドラインの策定 ②シラバス作成FD研修会 ③開講科目及び担当者決定、シラバス入力システムの準備(11~12月頃) ④シラバス執筆依頼、執筆(翌1月頃) ⑤シラバス改善小委員会によるシラバスの内容確認及び修正依頼(翌2月頃) ⑥実務家教員担当科目に係る内容確認、公開準備(3月頃) ⑦シラバス公開(3月末頃) 	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページで公表</p> <p>https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学の各授業の成績評価平準化を目して策定した成績評価ガイドラインにもとづき学修意欲・態度の把握、試験やレポート、プレゼンテーション、卒業論文などの適切な方法による学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与を行っている。そのため全ての科目について、単位認定・評価に当たっての評価方法をシラバスにあらかじめ明示し、公表している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価に係る客観的な指標としてGPAを設定・公表し、成績の分布状況の把握をはじめ適切な実施をしている。把握された成績優秀者については、履修上限の緩和や卒業時の表彰等を行っている。

本学におけるGPA制度は、下記に示すように、科目の素点を変換して直接GPを算定するファンクショナルGPA (Functional GPA: 本学ではf-GPAと略称) と呼ばれる算出方法によって算出している。

$$GP = (100 \text{ 点満点の成績素点} - 55) / 10 \text{ (ただし } GP < 0.5 \text{ は } GP = 0.0 \text{ とする)}$$

GPAは、履修した各科目の上記のGPに、その授業科目の単位数を掛け算した値の合計を履修総単位数で割った値である。

$$GPA = (GP \times \text{当該科目の単位数}) \text{ の総和} / \text{履修総単位数}$$

履修登録後、学期途中の一定期間に「履修取消」を申請することにより、登録した科目の履修を取り消すことができる。取り消しを行わずに「不合格」、「失格」や「放棄」とされた場合GPは0となるが、その場合にも科目の単位は履修総単位に含まれる。

なお、成績の分布状況については分析を行い、その内容をホームページで公表している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページで公表
https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学位授与に係る方針（ディプロマポリシー）は本学のホームページで公表し、卒業認定については適切に実施している。具体的な内容は、以下の通りである。

外国語学部現代英語学科では①英語コミュニケーションのための運用能力（読む、書く、聞く、話す）を修得・統合し、実社会で目的に応じて駆使することができる、②グローバルな視点に立ち、多様な地域や国々の言語や文化、社会について豊かな知識を修得している、③「英語ビジネス」、「航空・観光ホスピタリティ」、「通訳・翻訳」、「英語専門職」分野の専門知識とスキルを修得している、④上記に加えて、「プロジェクト」科目、「インターンシップ」科目、「卒業研究」科目、「留学」を通じて、獲得した知識やスキルを統合し活用することによって、現代社会において必要とされる能力、「理解力・知識を取り込む力」、「論理的思考力・問題解決力」、「行動力・統率力・協調性」、「コミュニケーション力」（長崎外国語大学では、「理解し、知識を身につける力」、「論理的思考力・問題解決力」、「態度・意欲」、「コラボレーションとリーダーシップ」、「効果的なコミュニケーション力」の5つ）を身につけていることと定めている。また、国際コミュニケーション学科では①ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語（留学生）の基礎能力（読む、書く、聞く、話す）を修得・統合し、実社会で目的に応じて駆使することができる、②ヨーロッパ、アジア、日本の歴史、文化、社会を学び、多文化共生の多様な可能性や意義について理解を深める、③上記に加えて、「プロジェクト」科目、「インターンシップ」科目、「卒業研究」科目、「留学」を通じて、獲得した知識やスキルを統合し活用することによって、現代社会において必要とされる能力、「理解力・知識を取り込む力」、「論理的思考力・問題解決力」、「行動力・統率力・協調性」、「コミュニケーション力」（長崎外国語大学では、「理解し、知識を身につける力」、「論理的思考力・問題解決力」、「態度・意欲」、「コラボレーションとリーダーシップ」、「効果的なコミュニケーション力」の5つ）を身につけていることと定めている。両学科とも、学士課程修了の卒業要件単位と上記の条件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与することとしている。

卒業を認定する条件は両学科とも教養教育科目 36 単位以上、専門教育科目 40 単位以上、言語教育科目 24 単位以上、いずれの科目群からも選択することができる自由選択科目 24 単位以上の合計 124 単位を取得することである。このうち言語教育科目については専修言語を定めた上で履修することとなり、現代英語学科は英語のみ、国際コミュニケーション学科ではドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語（留学生）を選択することができる。これらの単位履修条件を満たしたかを確認し卒業を認める卒業判定については、学則第 35 条の規定にもとづいて教育支援委員会で卒業案を策定して教授会で協議し、その結果をもとに学長により卒業の認定を行っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページで公表
https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長崎外国語大学
設置者名	学校法人 長崎学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/
財産目録	ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/
事業報告書	ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/
監事による監査報告(書)	ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 学校法人長崎学院長崎外国語大学中期計画(2021-2025))	
対象年度: 令和3~令和7年度)	
公表方法: ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部
教育研究上の目的（公表方法： ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/ ）
（概要） キリスト教精神に基づき、外国語と国際文化に関する知識を教授研究し、国際的な視野と円満な人格の涵養を図り、もって地域並びに人類社会の福祉と発展に寄与する人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/ ）
（概要） 外国語学部は、柔軟な思考力と異文化に対する感性を磨き、国際的な教養と外国語の実践的な運用能力を身につけることによって、地球市民として地域並びに国際社会の諸課題に主体的に取り組むことができる人材の育成を目的としています。 本学は、卒業に必要な所定の単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に卒業を認定し、学士の学位を授与します。 【学修成果 1】 建学の精神（キリスト教精神）及び歴史的長崎がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえてグローバル化する現代社会でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。 【学修成果 2】 高度の知的活動を行うために必要な 5 つの汎用的能力（知識獲得力、問題解決力、コミュニケーション力、自己実現力、組織的行動力）を身につけ、活用することができる。 【学修成果 3】 自己や自己を取り巻く世界を人文・社会・自然分野の知識と関連付けるとともに、多様な視点から認識し、異なる思考方法や多様な価値観に理解を示すことができる。 【学修成果 4】 専修外国語の高度な運用能力を身につけ、目的に応じて駆使することができる。 【学修成果 5】 専攻分野の専門知識を身につけ、その分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。 【学修成果 6】 自ら課題を発見し、その解決のためにこれまでに獲得した学修成果（知識・スキル及び汎用的能力）を総合的に活用することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/ ）
（概要） 卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、教養教育科目、専門教育科目、語学教育科目およびその他必要とされる科目を、必修・選択、順序性に配慮し、カリキュラム・マップ、ナンバリング、コース・ディスクリプションなどの方法によって体系的な学士課程を編成し、主体的な学びを促す適切な教育方法と評価による授業科目を設定する。 【教育内容】 1. 卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果 1 を達成することを主たる目的として、全学共通科目群である教養教育科目の中に、「キリスト教学Ⅰ・Ⅱ」（必修 4 単位）、

<p>建学の精神と長崎の歴史に関する授業科目、及び「外大と長崎」（必修1単位）を置く。</p> <p>2. 学修成果2は、学部教育課程全体を通じて達成する。知識獲得力、問題解決力、コミュニケーション力、自己実現力、組織的行動力の5つの汎用的能力（下位区分では15能力）と授業科目の関係については、別に定めるカリキュラム・チェックリストで示す。また、主として学修成果2の自己実現力を養うためキャリア支援科目を置く。</p> <p>3. 学修成果3を達成することを主たる目的として、全学共通科目群として教養教育科目を置く。教養教育科目の中の導入科目は、初年次教育、基礎教育及び主体的・能動的深い学びに向けた教育の機能をもたせる。</p> <p>4. 学修成果4を達成することを目的として、「言語教育科目」（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語）を置く。</p> <p>5. 学修成果5を達成することを主な目的として、「専門教育科目」を置き、各学科の卒業認定・学位授与の方針に基づき編成する。</p> <p>6. 学修成果6を達成することを主たる目的として、「留学プログラム科目」並びに実践体験型・問題解決型授業及び卒業研究によって構成する「Gaidaiプログラム科目」を置く。</p> <p>【教育方法】</p> <p>1. 「言語教育科目」においては、習熟度クラスおよび少人数クラスによって編成し、さまざまなアクティブラーニング手法により授業に取り組む。</p> <p>2. 「教養教育科目」および「専門教育科目」において、チームティーチング、問題解決型科目や体験学習型科目を導入し、さまざまなアクティブラーニング手法を取り入れた教育に取り組む。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学では、「外国語学部教育理念」で述べた人材育成の目的を達成するために以下に掲げる人材を募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化する社会において、外国語と異文化に強い関心をもっている人 ○外国語による幅広いコミュニケーション能力を身につけたい人 ○広い視野と多角的な視点に立った総合的な人間力を身につけたい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>高等学校までに培った基礎学力に加え、協調性、主体性、探究心、表現力、学ぶ意欲、リーダーシップ、論理的思考力や理解力などを備えた学生を多様な選抜制度によって受け入れる。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
外国語学部	—	11人	11人	13人	0人	0人	35人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				68人			68人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
外国語学部	170人	142人	83.5%	740人	700人	94.6%	30人	16人
合計	170人	142人	83.5%	740人	700人	94.6%	30人	16人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
外国語学部	192人 (100%)	10人 (5.2%)	146人 (76.0%)	36人 (18.8%)
合計	192人 (100%)	10人 (5.2%)	146人 (76.0%)	36人 (18.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>カリキュラムポリシー及びカリキュラム関連情報をホームページで公開している。また、各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準手法、フィードバックの方法その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を学期開始前までに作成し本学サイト内で公表している。この授業計画（シラバス）の作成にあたりシラバス改善小委員会を中心にガイドラインを作成してチェック体制を確立し、併せて教員 SD(FD)で周知する等の取組みを行っている。</p> <p>[カリキュラムポリシー・カリキュラム関連情報・シラバス] http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価ガイドラインにもとづき学修意欲・態度の把握、試験やレポート、プレゼンテーション、卒業論文などの適切な方法による学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与を行っている。そのために上記ガイドラインを含め全ての科目について、単位認定・評価に当たっての評価方法をシラバスにあらかじめ明示し、大学ホームページで公表している。</p> <p>また、成績評価に係る客観的な指標として GPA を設定しており、その内容をホームページで公表し、成績の分布状況の把握等適切な実施をしている。成績優秀者については、履修上限の緩和や卒業時の表彰等を行っている。</p> <p>卒業又は修了の認定に当たっては、学位授与に係る方針（DP）や卒業要件を定めてホームページで公表し、諸規程に基づく卒業判定を実施し適切な学位授与を行っている。</p> <p>[成績評価ガイドライン・シラバスの見方・成績と単位の認定・教育理念、教育研究上の目的および人材育成の目的] http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>G P A制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外国語学部</td> <td>現代英語学科</td> <td>124 単位</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>・無</td> <td>年間 40 単位</td> </tr> <tr> <td>国際コミュニケーション学科</td> <td>124 単位</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>・無</td> <td>年間 40 単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	外国語学部	現代英語学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	年間 40 単位	国際コミュニケーション学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	年間 40 単位
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)										
外国語学部	現代英語学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	年間 40 単位										
	国際コミュニケーション学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	年間 40 単位										
G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：ホームページで公表 https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/													
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：													

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表

https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
外国語学部	現代英語 学科	610,000 円	250,000 円	377,000 円	1 年次「その他」は施設設備費
	国際コミュニケーション学 科	610,000 円	－円	377,000 円	2 年次「その他」は施設設備費
		630,000 円	－円	387,000 円	3 年次及び 4 年次(スライド制による授業料等の増額) 「その他」は施設設備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学修支援センターによる学修支援に加え、複数の大学独自の給付型奨学金制度によって経済的支援を行っており、その内容をホームページで公開している。</p> <p>[学修支援センター・奨学金制度情報] https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1 年次から履修できるキャリア支援科目を開講し、インターンシップ、産学連携等、社会での研修も取り入れている他、キャリアセンターによる個別指導を行っており、その内容をホームページで公表している。</p> <p>[キャリアセンター情報] https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>カウンセリングルームを週 4 日開設し、スクールカウンセラーによる専門的支援を行っており、その内容をホームページで公表している。また、障がい学生支援規程を定め、支援を必要とする学生への合理的配慮も提供している。</p> <p>[カウンセリングルーム情報] https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：ホームページで公表</p> <p>http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/about/student_support_act_list/</p>
--